

平成27年(2015年) 1月の結果 (二人以上の世帯)

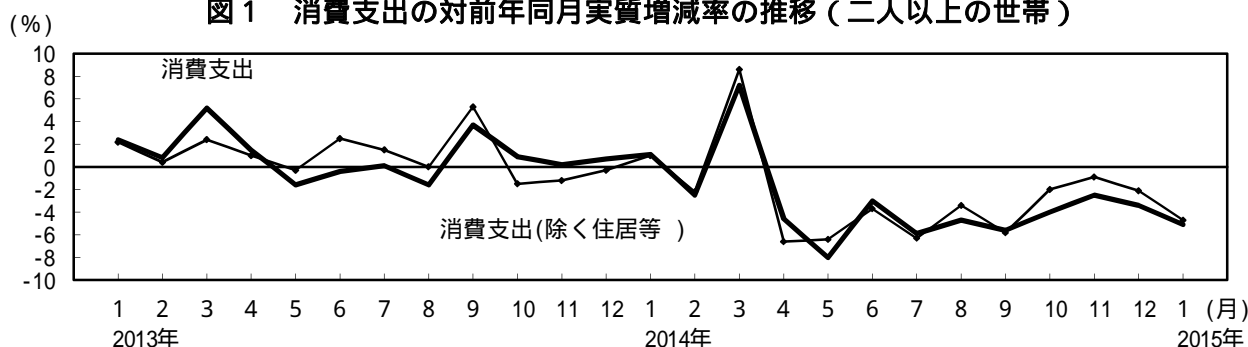
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 289,847 円		
前年同月比	実質 5.1%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.3%の減少
	名目 2.4%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 244,302 円		
前年同月比	実質 4.7%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.3%の減少
	名目 2.0%の減少		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 440,226 円		
前年同月比	実質 2.3%の減少		
	名目 0.4%の増加		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

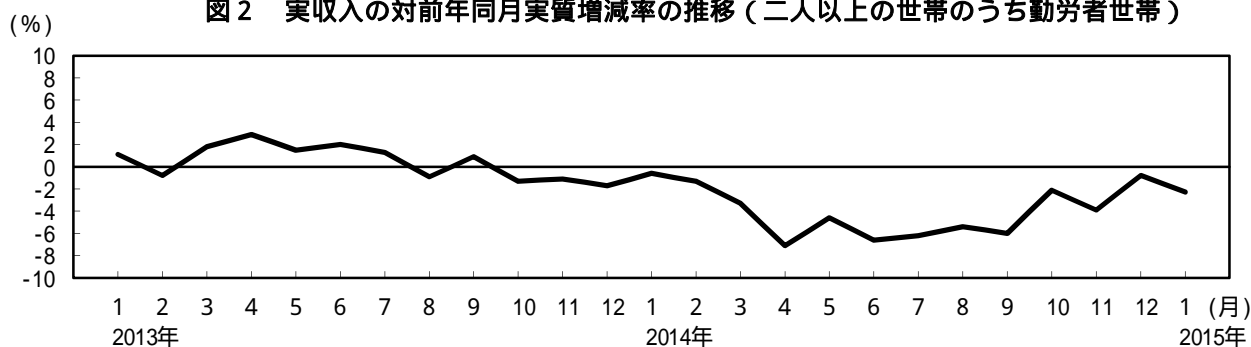
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年												2015年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費支出	1.1	-2.5	7.2	-4.6	-8.0	-3.0	-5.9	-4.7	-5.6	-4.0	-2.5	-3.4	-5.1
消費支出(除く住居等)	1.0	-2.2	8.6	-6.6	-6.4	-3.7	-6.3	-3.4	-5.8	-2.0	-0.9	-2.1	-4.7

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年												2015年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
実収入	-0.6	-1.3	-3.3	-7.1	-4.6	-6.6	-6.2	-5.4	-6.0	-2.1	-3.9	-0.8	-2.3
可処分所得	-0.5	-1.3	-3.2	-7.0	-3.4	-8.0	-5.2	-5.2	-5.9	-2.4	-3.9	-0.3	-2.5
消費支出	-0.2	-3.2	7.5	-6.9	-8.8	-4.5	-3.6	-6.0	-7.3	-3.4	-1.2	-3.0	-4.3
平均消費性向*	0.3	-1.6	10.6	0.1	-5.4	1.9	1.2	-0.6	-1.4	-0.8	2.4	-1.3	-1.6

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年1月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	289,847	-2.4	-5.1	-		10か月連続の実質減少
食 料	65,803	0.8	-3.3	-0.71	<減 少> 外食,魚介類など	2 か月連続の実質減少
住 居	15,834	-6.6	-8.1	-0.46	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	2 か月ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	30,941	2.6	-1.3	-0.12	<減 少> 上下水道料,ガス代など	10か月連続の実質減少
家具・家事用品	8,802	-6.5	-8.8	-0.28	<減 少> 家庭用耐久財,家事サービスなど	10か月連続の実質減少
被 服 及 び 履 物	12,881	-12.6	-15.9	-0.79	<減 少> 洋服,シャツ・セーター類など	5 か月連続の実質減少
保 健 医 療	12,515	4.5	2.8	0.11	<増 加> 保健医療用品・器具,保健医療サービス	4 か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	38,421	-5.6	-6.0	-0.82	<減 少> 自動車等関係費,交通など	2 か月連続の実質減少
教 育	10,217	5.9	3.6	0.12	<増 加> 授業料等	3 か月連続の実質増加
教 養 娛 楽	25,130	-8.3	-11.3	-1.05	<減 少> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品など	10か月連続の実質減少
その他の消費支出	69,303	-2.1	(-4.8)	(-1.14)	<減 少> 交際費,こづかいなど	15か月連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	244,302	-2.0	-4.7	-		10か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

教養娯楽サービス	[-0.70]	外国パック旅行費,国内パック旅行費
交際費	[-0.63]	贈与金
自動車等関係費	[-0.58]	自動車購入,自動車等関連用品
設備修繕・維持	[-0.38]	外壁・塀等工事費,設備器具
外食	[-0.33]	飲酒代
洋服	[-0.24]	男子用上着,子供服
シャツ・セーター類	[-0.21]	婦人用セーター,男子用セーター
交通	[-0.20]	航空運賃,有料道路料
魚介類	[-0.19]	ぶり,さしみ盛合わせ

< 増加項目 >

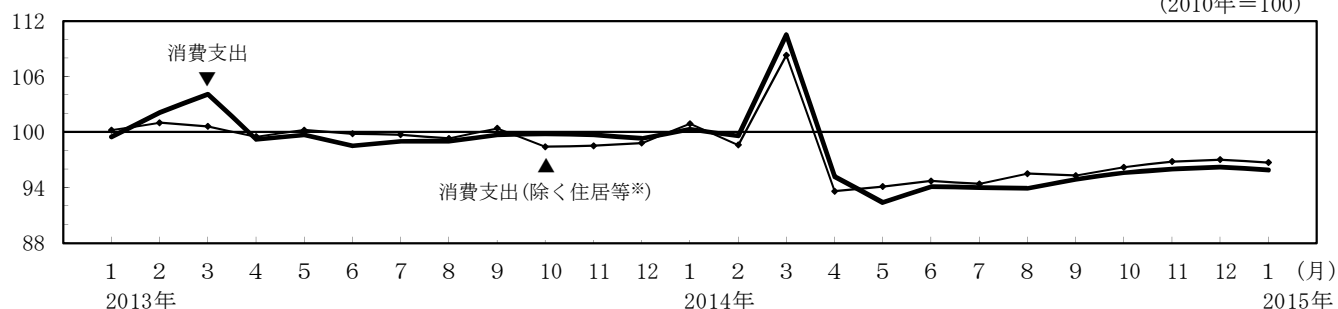
授業料等	[0.12]	私立大学,専修学校
電気代	[0.09]		

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年												2015年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費支出	100.3	99.6	110.5	95.2	92.4	94.1	94.0	93.9	94.9	95.6	96.0	96.2	95.9
対前月変化率(%)	1.0	-0.7	10.9	-13.8	-2.9	1.8	-0.1	-0.1	1.1	0.7	0.4	0.2	-0.3
消費支出(除く住居等※)	100.9	98.6	108.3	93.6	94.1	94.7	94.4	95.5	95.3	96.2	96.8	97.0	96.7
対前月変化率(%)	2.1	-2.3	9.8	-13.6	0.5	0.6	-0.3	1.2	-0.2	0.9	0.6	0.2	-0.3

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年1月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	440,226	0.4	-2.3	—	16か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	356,957	-0.2	-2.9	-2.42	11か月連続の実質減少
定 期 収 入	348,298	-0.4	-3.1	-2.49	12か月連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	54,757	2.8	0.0	0.00	
他 の 世 帯 員 収 入	7,889	-2.8	-5.4	-0.10	2か月ぶりの実質減少
非 消 費 支 出	81,197	1.2	—	—	3か月ぶりの増加
可 処 分 所 得	359,029	0.2	-2.5	—	18か月連続の実質減少
消 費 支 出	320,674	-1.6	-4.3	—	10か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	89.3	(前年同月) (ポイント差) 90.9 -1.6			季節調整値でみると、74.6%で、前月に比べ、0.8ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。